



【お名前】

いたばし いちた
板橋 一太

【現職（所属）】

財団法人日本オリンピック委員会
常務理事
スポーツ環境専門委員長

【略歴】

1944年福岡県生まれ。

文部省大臣官房審議官(体育局担当)、東京大学事務局長などを経て現職。

1980年から3年間パリにて日本政府ユネスコ代表部常駐代表補佐を務めユネスコの環境教育や自然保護の活動に参加、環境問題への関心を強める。2007年4月からJOCスポーツと環境委員会委員長に就任、スポーツ界における環境問題への取組みの推進に努力している。

趣味は往年はスキーやヨット、釣りなど野外スポーツに親しんだが現在はパソコンや読書、音楽など。

【カーボンオフセットに関する取組、一言コメント】

地球温暖化対策に官民挙げて取り組まなければならないが、企業も団体も個人もまずは自らの努力によってCO₂の排出を抑制し削減する必要がある。人が何らかの活動をすればCO₂の排出は避けられないが、大量に排出する場合とそうでない場合がある。また、社会的に価値の高い活動の場合にはあまりCO₂の排出を問題とすべきで無い場合もある。またCO₂取引は一つの手法として評価できるが財政的に難しい面もある。カーボン・オフセットの取組みは自発性を基本とすべきである。